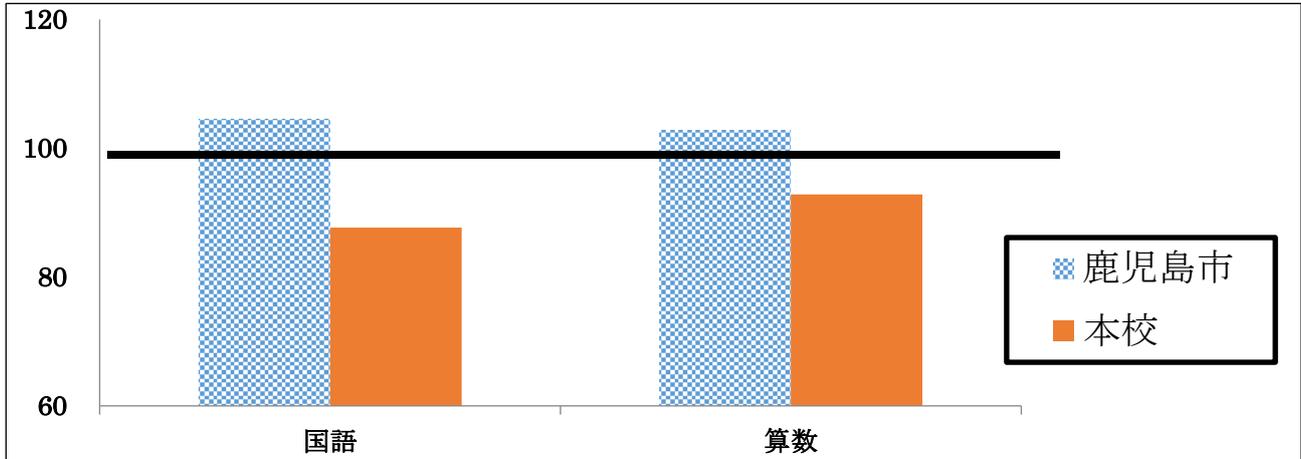


令和3年度全国学力・学習状況調査について

鹿児島市立花尾小学校

1 自校・市・全国の平均正答率の比較

〈 全国平均正答率を100とする棒グラフ 〉



2 自校の課題に対する改善策

	【成果や課題】	【改善の具体策】
国語	<p>◎ 無解答率が少なく、全員が全ての問いに対して自分の考え・意見を答えている。</p> <p>△ 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することが全国正答率より下回っている。</p> <p>△ 目的や意図に応じて、理由を明確にしながら自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することが全国正答率より下回っている。</p> <p>△ 主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係を捉えることが全国正答率より下回っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 授業や家庭で読書や新聞を読む機会を増やすことで読解力を高めていきたい。 事実と考えとを区別したり、理由を明確にして自分の考えをまとめたりして、意見文や紹介文を書かせることで書く力を高めていきたい。 文章の構成を整理して、何を説明している修飾語なのか、省略されている主語は何なのか考えさせる機会を増やして指導していきたい。
算数	<p>△ 記述問題に無回答が多くみられる。</p> <p>△ 問題文や表から必要な数値を選ぶこと、また、その答えを式や言葉を用いて記述することが全国正答率より下回っている。</p> <p>△ 伴って変わる二つの数量の関係について考察することが全国正答率より下回っている。</p> <p>△ 小数を用いた倍についての説明を解釈し、他の数値の場合に適用して考えることが全国正答率より下回っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 長い文章問題を苦手としている児童が多いので、問題文の内容を理解させるために、式に表すだけでなく、図や表、グラフに表したり、なぜそうなったのか根拠を示しながら説明したり、記述したりする活動を授業で多く設定し、指導していきたい。 初めて見る問題を苦手としている児童が多いので、ドリルタイムや学習チャレンジタイム等で、過去の問題やかごしま学力向上支援Webシステム等の良問等を繰り返し解かせ、問題パターンに慣れさせ、定着を図りたい。
児童質問紙調査	<p>【全国と比較して、良い傾向にあるもの】</p> <p>「学校に行くのは楽しい」「携帯電話・スマートフォン等の使い方について、家の人と約束したことを守っている」「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している」</p> <p>【全国と比較して、劣る傾向にあるもの】</p> <p>「新聞を読む」「自分には良いところがある」「学校の授業以外の1日当たりの勉強時間」「ICT機器を使って他の友達と意見を交換したり、調べたりする」「国語の勉強は好きですか、将来社会に出た時に役に立つと思いますか」</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「新聞を読む」が全国と比較して劣っていたので、新聞記事を教材化したり、図書館の子ども新聞を活用したりしていきたい。 児童の頑張りを褒め、自分に自信を持たせ、自己肯定感を高めさせていきたい。 学校から与えられた課題だけでなく「自分で取り組みたい」と思える学習の進め方を指導していきたい。 授業の深め合う場面を中心にICTを活用して、他の友達と意見を交換し合う場を多く設けていきたい。